

水彩画教室 「総武線の黄色い電車」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

母と浅草橋に行くときは 新宿駅から中央線の快速に乗りました 外堀越しの街並みや神田川を見るのが楽しみでした 御茶ノ水駅で赤い中央線快速から 総武線の各駅に乗り換えました 私はこの黄色い電車が好きで 盛んに絵に描いたので 黄色のクレヨンが一番最初に減ったのをよく覚えています これも半世紀も前の思い出で 今はこんな古風な電車は東京のどこにも走っていません



これが完成した絵です



1、電車は顔（前面）が何よりも大切です 前照灯（ヘッドライト） 方向幕（行先表示） 前面窓などを できるだけ正確に描きます



2、床下は暗いので難しいです 尾灯の赤 連結器などを あえてあまり丁寧にならない ように描きます



3、この電車は 発車直後を「見送る」構図 なので 側面のドアは閉まっています 当時は点字ブロックはありませんでした



4、向かいの線路の床下機器 暗いので「何か機械があるな」という程度で良いでしょう



5、これも古風な ホームの行先表示器 文字は「不透明の白ペン」(写真に文字を書くペン)で書きました



6、人物が下手です どうせなら母と幼い私の姿を描けばよかったと 後悔しました